

令和6年度 学校経営目標

小野市立大部小学校

1 学校教育目標

自ら学び、共に生きる児童の育成

～社会的自立の基盤づくり～

【旭丘中学校区小中一貫教育目標】

「社会的自立への基盤づくり ～互いに磨き合い、たくましく、心豊かな人づくり～」

2 めざす児童像…や・か・た の教育

- (1) やさしく (徳) …愛をもって助け合う子
 - 進んで人のために尽くす子
 - 思いやりの心を持ち、友達を大切にする子
- (2) かしこく (知) …主体的に考える子
 - 自ら学び、伸びようとする子
 - 自分を見つめ、よく考えて正しく判断する子
- (3) たくましく (体) …心身ともに強い子
 - 自分の健康を守り、身体を鍛えようとする子
 - 何事にもねばり強くやり抜こうとする子

3 学校経営の方針

- (1) 目標に向かって
 - 学校教育目標、めざす児童像、学年目標、学級目標等、目指すところを大切に
にとらえ、そのために何をすべきか、何ができるかを考えて教育活動を作り
上げていく。
 - 目標達成に向けたPDC Aサイクル(計画→実行→評価→改善)を機能させ、
教育活動の質を高めていく。
- (2) チームで 協働的に
 - 教職員間の風通しのよい関係性を構築し、ともに助け合い、励まし合い、磨
き合い、高め合う「チーム大部」をみんなで作り上げていく。
 - 全教職員の「情報共有」「共通理解」を大切にし、みんなが同じ方向を向いて
教育活動を行っていく。
- (3) 使命と責任と愛を持って
 - 教育のプロとしての自覚を持ち、たえず向上心を持って授業力、指導力の向
上を目指す。
 - 年齢や経験に応じた自己の役割、責任を認識し、一人ひとりが「チーム大部」
の組織力向上に貢献する。
 - 児童、保護者、地域、教職員に対してたえず愛情をもって接し、よりより人
間関係を基盤とした教育活動を行っていく。

4 重点項目

(1) 「夢と希望の教育」の推進

- 「脳を鍛え、心を育てる脳科学の知見」に基づいた教育活動を行う。
- 超スマート社会（Society5.0）を豊かに生きる力を育み、自立した未来をひらく人づくりを目指す。

(2) 旭丘中校区「小中一貫教育」の推進

- 学びのつながりを重視し、「自立」を目指す小中一貫教育を行う。
- 「旭丘中校区は一つ」を合言葉に、9か年を貫いた系統的で継続性のある学習指導、生徒指導、人権教育等の充実を図る。

(3) 安全・安心のある学校づくりと地域連携

- 「児童が通いたい」、「保護者が通わせたい」、「地域が期待する」学校をつくる。
- 物的（施設・設備）・心的（信頼・互敬）共に充実した学校環境をつくる。
- 地域・保護者との信頼をさらに深める。

(4) 主体的、対話的で、深い学びの実現

- わかる授業、楽しい授業、家庭学習の充実、GIGAスクール構想の実現を目指す。
- 個別最適な学び、協働的な学びを推進する。（伸ばす教育、底上げ教育）
- 研修の充実による教師力（授業力・生徒指導力・人権意識）の向上

(5) 「働き方」を改革し、足元から見直す「業務改善」

- 勤務時間の適正化（仕事の優先順位、定時退勤日の徹底）が私たちの共通課題であることを認識する。
- 日々の働きづらさやストレスを教職員全体で共有し合い、改善のための具体的な方策を考え、一人ひとりにあった「ワーク・ライフ・バランス」を実現させる。